

令和2年度

# 当初予算の主要事業

厚木市財務部財政課

令和2年2月13日



## 1 当初予算主要事業

### 人口の将来展望を実現する「地方創生」の推進

- 1 子育て日常生活支援事業……………5  
子どもを養育している家庭に対し、日常生活用品(紙おむつ、おしりふき等)を支給。**【対象拡大：第1子から】**
- 2 幼稚園教諭応援・サポート事業 **NEW**……………6  
市内の私立幼稚園に就職する又は勤務している幼稚園教諭に対して、奨学金の返済金額や市内への転入費用の一部を助成。また、現在働いていない幼稚園教諭有資格者が市内の私立幼稚園に就業するための費用の一部を助成。
- 3 事業承継支援事業補助金 **NEW**……………7  
経営資源を持ちながら、後継者問題等の課題を抱える市内中小企業の事業承継に掛かる費用の一部を補助。
- 4 幼稚園・認定こども園受入体制充実事業……………8  
私立幼稚園に対し、園児の健康管理、預かり保育、特別な支援を必要とする児童の受入の推進に要する経費の一部を補助。また、認定こども園が良質かつ適切な教育・保育を提供する体制を確保するために、事務や保育に係る経費の一部を補助。
- 5 小・中学校特別教室冷暖房設備設置事業 **NEW**……………9  
児童・生徒が快適な教育環境で安心して安全な学校生活を送ることができるよう、小・中学校の特別教室への冷暖房設備導入に向けた調査・検討を実施。

### 誰もがいきいきと生活できる「地域包括ケア社会」の実現

- 1 高齢者継続雇用奨励補助金 **NEW**……………10  
市内中小企業等において、高齢者の雇用の促進を図り、就労機会の拡大及び技術の確実な継承の促進につなげるため、雇用奨励金を交付。**【県内初】**
- 2 振り込め詐欺等防止装置購入費補助金 **NEW**……………11  
振り込め詐欺の被害を防止するため、録音機能付き電話機又は後付けの装置の購入に要する経費の一部を補助。
- 3 高齢者の尊厳保持支援事業……………12  
権利擁護支援センターを拡充し、市民後見人養成のための研修の実施や、成年後見制度に関する相談受付等を実施するほか、中核機関を設置し、被成年後見人や成年後見人等を地域で支え合う地域連携ネットワークを構築。

- 4 **がん検診事業** …………… 13  
 がんの予防や早期発見のため、肺がんの施設検診において、胸部エックス線検査に、ハイリスク者へ喀痰（かくたん）細胞診を併用し実施。

### 将来にわたって活力あるまちであり続けるための「都市基盤整備」の推進

- 1 **酒井土地区画整理関連事業** **NEW(一部)** …………… 14  
 早期の産業用地創出及び企業誘致に向け、酒井土地区画整理組合に対して支援を実施。また、施行地区周辺の都市基盤整備を実施。  
**【令和6年度整備完了（予定）】**
- 2 **森の里東土地区画整理関連事業** …………… 15  
 森の里東土地区画整理組合への支援を実施。A工区は既に完成し、2社が操業中。引き続きB工区・C工区の整備完了に向けて支援を実施。また、施行地区周辺の都市基盤整備を実施。  
**【B工区は令和2年6月、C工区は令和5年度整備完了（予定）】**
- 3 **街路整備関連事業** **NEW(一部)** …………… 16  
 安全で快適な市民生活を確保し、体系的な交通ネットワークを構築するため、都市計画道路（厚木環状3号線・本厚木下津古久線）の整備を促進。
- 4 **厚木秦野道路用地取得事業（用地国債）（公共用地取得事業特別会計）** …… 17  
 厚木秦野道路（国道246号バイパス）の早期整備促進に向け、用地国債先行取得制度を活用し、事業用地を先行取得。**【県内初（3年目）】**

### 「防災・減災」対策の強化による安心・安全の推進

- 1 **電気自動車電力供給システム整備事業** **NEW** …………… 18  
 公民館等の指定緊急避難場所において、停電時に備えて非常用電源を確保するため、電気自動車からの電力供給を受けるための体制を整備。
- 2 **被災者支援システム整備事業** **NEW** …………… 19  
 大規模災害時における市民生活の復旧を支援するため、被害認定調査や被災証明書の発行などを迅速に行う被災者支援システムを構築。
- 3 **地区別防災マップ・オールハザードマップ作成事業** **NEW(一部)** …………… 20  
 近年頻発している災害に対応できる地区別防災マップや震度分布図、液状化分布図や最新の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映したオールハザードマップを作成して全戸配布。**【地区別防災マップは、県内初】**
- 4 **厚木排水区浸水対策北貯留管整備事業（公共下水道事業会計）** …………… 21  
 局地的集中豪雨等に対して、本厚木駅周辺の厚木排水区における浸水被害を軽減するため、厚木北地区に雨水貯留管を整備。  
**【令和4年度整備完了（予定）】**

- 5 消防庁舎整備関連事業……………22  
 消防・防災拠点としての機能強化を図るため、相川分署及び南毛利分署の移転整備を推進。【令和3年度整備完了（予定）】
- 6 消防団救命ボート整備事業 **NEW**……………23  
 近年大型化する台風や局地的な集中豪雨などによる被害から市民の命と暮らしを守るため、洪水浸水対策の一環として、消防団へ救命ボート（各地域1艇、計8艇）を追加配備。

### 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」を契機としたレガシーの創出

- 1 オリンピック・パラリンピック支援推進事業……………24  
 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの受入や、本大会の観戦の機会を市民に提供。また、レガシー創出のため、ニュージーランドとのホストタウン交流事業を実施。
- 2 オリンピック・パラリンピック体験支援事業 **NEW**……………25  
 東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会が企画する学校連携チケットを活用し、児童・生徒が観戦できる機会を設け、心に残る感動体験を提供。
- 3 オリンピック聖火リレー記念施設整備事業 **NEW**……………26  
 東京オリンピックの聖火リレーを記念し、リレーコースとなる市道内に後世に残る記念パネルなどを設置。
- 4 英語教育推進事業……………27  
 英語の習得・活用に意欲を持つ児童・生徒を育成するAKG（あつぎキッズガイド）プロジェクトなどを実施し、英語によるコミュニケーション能力を育む教育を推進。

### 「中心市街地」の魅力や利便性の向上

- 1 本厚木駅南口関連事業 **NEW(一部)**……………28  
 本厚木駅南口地区の交通結節点としての機能強化を図るとともに、魅力ある駅周辺の顔づくりを目指し、駅前広場の拡充整備や地下1階には自転車駐車場を設けた再開発ビルを整備。また、駅前広場にはデジタルサイネージを6基設置し、市からのお知らせなどの情報を積極的に発信するほか、気軽にインターネットに接続できる無線LAN（Wi-Fi）環境を整備。【令和2年度整備完了（予定）】
- 2 中町第2-2地区周辺整備関連事業……………29  
 中心市街地の新たな中核拠点となる図書館、（仮称）未来館、市庁舎等で構

成する複合施設の設計に向けた準備を推進。また、周辺交通アクセス整備を推進し、A-358号線歩道整備、都市計画道路中町北停車場線の整備計画の検討を実施。

- 3 **本厚木駅北口周辺整備関連事業** **NEW(一部)** ..... 30  
 本厚木駅北口周辺地区及び駅北口広場の都市機能更新に向けた取組を推進。また、市街地再開発準備組合が実施する組合設立促進事業に要する経費の一部を補助。
- 4 **愛甲石田駅周辺整備関連事業** ..... 31  
 愛甲石田駅北口広場の拡張を基本とした整備構想の検討を実施。また、すでに取得した用地を活用し、愛甲石田駅北口広場の一般車と公共交通の錯綜を改善するため、暫定整備を実施。

### **あつぎ元気プランの着実な推進**

- 1 **RPA等導入事業** **NEW** ..... 32  
 ソフトウェア上のロボットにより業務工程を自動化するRPAなどの新技術を導入し、更なる業務の効率化や生産性向上を図り、より質の高い行政サービスを提供。
- 2 **ごみ減量化・資源化推進事業** ..... 33  
 持続可能な循環型社会の実現を目指し、学校給食から排出される食品廃棄物の減量化・資源化モデル事業や、製品プラスチックの資源化モデル地区事業を実施。また、紙おむつの資源化に向けた調査を実施。
- 3 **SDGs推進事業** **NEW** ..... 34  
 SDGsの普及促進と地域活性化のため、スマートフォンアプリを導入し、SDGsにつながる市民活動等に対して、各種特典等のサービスに利用できるポイントを付与する「SDGsつながりポイント」事業を実施。
- 4 **セーフコミュニティ推進事業** ..... 35  
 セーフコミュニティの考え方や手法を用いた事故やけがの予防政策の取組を実施し、3回目のセーフコミュニティ認証に向けた準備を推進。
- 5 **ホームページリニューアル事業** **NEW** ..... 36  
 長期運用に伴う課題や利用者のニーズ等を踏まえ、モバイル端末機などの利用を意識した、利用しやすく分かりやすいホームページを目指し、全面リニューアルを実施。



## 令和2年度当初予算主要事業

(地方創生)

事業名	子育て日常生活支援事業																												
区 分	拡 充																												
事業の目的	紙おむつやおしりふき等の日常生活用品を自宅に配送し、子育て家庭の日常生活支援及び経済的負担の軽減を図ります。																												
事業概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>第1子も対象になります</b></p> </div> <p>本事業は、全国でもトップクラスのサービスとしてスタートし、第2子目以降の子どもを養育している子育て世帯に1か月4,500円の範囲内でカタログから選択した紙おむつやおしりふきシート等の日常生活用品を毎月自宅にお届けし、子育て世帯の日常生活支援と経済的支援を行っています。</p> <p>令和2年4月からは、初めての子育てを応援するため、第1子目を新たに対象として拡大します。これにより、何子目であっても支援を受けられることとなり、本市の子どもを産み、育てやすい子育て環境の充実を更に図ります。</p> <p>・対象児童の見込み数（年間延べ数）</p> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;"><b>第1子目（拡充）</b></td> <td style="text-align: right;"><b>3, 591人</b></td> </tr> <tr> <td>第2子以降（既存）</td> <td style="text-align: right;">11, 952人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">15, 543人</td> </tr> </table> <p>・類似事業を実施している自治体（県内）との比較</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">対 象</th> <th style="width: 25%;">支 給 期 間</th> <th style="width: 15%;">支給相当額 (月額等)</th> <th style="width: 35%;">支給期間内 総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">厚木市</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">第1子以降</td> <td style="text-align: center;">第1子、第2子…12箇月</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">4,500円</td> <td style="text-align: center;">54,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3子以降…2歳に達する月まで</td> <td style="text-align: center;">108,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">座間市</td> <td style="text-align: center;">第1子以降</td> <td style="text-align: center;">0歳児</td> <td style="text-align: center;">10,000円</td> <td style="text-align: center;">10,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">綾瀬市</td> <td style="text-align: center;">第2子以降</td> <td style="text-align: center;">1歳に達する月の前月まで</td> <td style="text-align: center;">3,500円</td> <td style="text-align: center;">42,000円</td> </tr> </tbody> </table>	<b>第1子目（拡充）</b>	<b>3, 591人</b>	第2子以降（既存）	11, 952人	計	15, 543人		対 象	支 給 期 間	支給相当額 (月額等)	支給期間内 総額	厚木市	第1子以降	第1子、第2子…12箇月	4,500円	54,000円	第3子以降…2歳に達する月まで	108,000円	座間市	第1子以降	0歳児	10,000円	10,000円	綾瀬市	第2子以降	1歳に達する月の前月まで	3,500円	42,000円
<b>第1子目（拡充）</b>	<b>3, 591人</b>																												
第2子以降（既存）	11, 952人																												
計	15, 543人																												
	対 象	支 給 期 間	支給相当額 (月額等)	支給期間内 総額																									
厚木市	第1子以降	第1子、第2子…12箇月	4,500円	54,000円																									
		第3子以降…2歳に達する月まで		108,000円																									
座間市	第1子以降	0歳児	10,000円	10,000円																									
綾瀬市	第2子以降	1歳に達する月の前月まで	3,500円	42,000円																									
令和2年度 当初予算額	75, 448千円																												
担当課	部 ・ 課	こども未来部 子育て給付課																											
	担 当 課 長	子育て給付課長 柏木 浩																											
	電 話	046-225-2242																											

## 令和2年度当初予算主要事業

(地方創生)

事業名	幼稚園教諭応援・サポート事業	
区分	新規	
事業の目的	久保子どもの未来応援基金を活用し、新たに幼稚園教諭を対象とした奨学金返済助成金、転入奨励助成金及び復職等奨励助成金を支給することにより、幼児教育・保育に携わる人材確保を推進します。	
事業概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">県内初</div> <p><b>【幼稚園教諭奨学金返済助成金】</b> 幼稚園教諭が市内の私立幼稚園に勤務している期間に、奨学金の返済に要した費用の一部（上限20万円／年、最長3年。最大60万円）を幼稚園教諭本人に支給します。</p> <p><b>【幼稚園教諭転入奨励助成金】</b> 幼稚園教諭が市内に転入する際に要した費用に対し、最大10万円を幼稚園教諭本人に支給します（一律5万円＋転入経費として上限5万円まで）。</p> <p><b>【幼稚園教諭復職等奨励助成金】</b> 幼稚園教諭資格者が市内の私立幼稚園に就業（復職）する際に要した費用の一部に対し、一律10万円を幼稚園教諭本人に支給します。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>幼稚園で働くなら ぜひ、厚木へ！！</p> </div>	
令和2年度 当初予算額	幼稚園教諭奨学金返済助成金	2,000千円
	幼稚園教諭転入奨励助成金	400千円
	幼稚園教諭復職等奨励助成金	400千円
担当課	部・課	こども未来部　こども育成課
	担当課長	こども育成課長　柏木　毅
	電　　話	046-225-2253



## 令和2年度当初予算主要事業

(地方創生)

事業名	事業承継支援事業補助金	
区 分	新 規	
事業の目的	優れた経営資源を持ちながら後継者問題等の課題を抱える市内中小企業の事業を継続し、技術や顧客、雇用の喪失を防ぐため、事業承継に係る経費を補助するものです。	
事業概要	<p>【対象】 市内に事業所を置く個人、市内に本店を置く法人で、自社の事業承継及びM&amp;A（市外へ移転する場合を除く）を実施する中小企業</p> <p>【対象経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業承継の戦略策定に係る経費 初期診断、課題分析及びコンサルティング、事業承継計画の策定、企業価値の創出、特例継承計画・個人事業承継計画の策定</li> <li>2 仲介又はマッチングの登録、着手等M&amp;Aの仲介委託に係る経費</li> </ol> <p>【補助金額】 補助対象経費の1/2以内、上限500,000円</p> <p>【事業効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内経済の継続的な発展を促すことができます。</li> <li>2 市内で継続して操業していただくことにより、持続可能な社会の実現に向けた施策展開を図るための財源の確保を図ることができます。</li> </ol> <p>【県内他市の取組状況】 横浜市、横須賀市</p> <p>※M&amp;A：企業の既存経営資源を活用することを目的に企業や事業の経営権を移転する取引</p>	
令和2年度 当初予算額	1,000千円	
担当課	部 ・ 課	産業振興部 産業振興課
	担 当 課 長	産業振興課長 小宮 和茂
	電 話	046-225-2807

## 令和2年度当初予算主要事業

(地方創生)

事業名	幼稚園・認定こども園受入体制充実事業												
区 分	拡 充												
事業の目的	子どもたちに質の高い幼児教育の機会を提供するため、私立幼稚園、認定こども園における、受入体制の更なる充実を図ります。												
事業概要	<p>1 幼児教育支援事業補助金</p> <p>幼稚園に対し、教材購入費、特別支援教育費、園児健康管理費、事務費、預かり保育事業費、外国人児童受入支援事業費の一部を補助します。</p> <p>特に、幼児教育・保育の無償化に伴う、預かり保育の需要の高まりや施設の事務負担の増加、特別な支援を必要とする児童の受入れを行う幼稚園を支援するため、補助を増額します。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">(1) 教材費</td> <td style="text-align: right;">8, 700千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 特別支援教育費(拡充)</td> <td style="text-align: right;">39, 600千円</td> </tr> <tr> <td>(3) 園児健康管理費</td> <td style="text-align: right;">870千円</td> </tr> <tr> <td>(4) 事務費(拡充)</td> <td style="text-align: right;">1, 650千円</td> </tr> <tr> <td>(5) 預かり保育事業費(拡充)</td> <td style="text-align: right;">9, 840千円</td> </tr> <tr> <td>(6) 外国人児童受入れ支援事業費(新規)</td> <td style="text-align: right;">1, 700千円</td> </tr> </table> <p>2 認定こども園新制度補助金</p> <p>幼児教育・保育の無償化等の影響により、認定こども園における保育需要が増加しているため、保育認定を受けたお子さんの受入枠の拡大及び環境整備等、保護者のニーズに合ったサービスが提供できるよう、認定こども園に対して、新たに経費の一部を補助します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	(1) 教材費	8, 700千円	(2) 特別支援教育費(拡充)	39, 600千円	(3) 園児健康管理費	870千円	(4) 事務費(拡充)	1, 650千円	(5) 預かり保育事業費(拡充)	9, 840千円	(6) 外国人児童受入れ支援事業費(新規)	1, 700千円
(1) 教材費	8, 700千円												
(2) 特別支援教育費(拡充)	39, 600千円												
(3) 園児健康管理費	870千円												
(4) 事務費(拡充)	1, 650千円												
(5) 預かり保育事業費(拡充)	9, 840千円												
(6) 外国人児童受入れ支援事業費(新規)	1, 700千円												
令和2年度 当初予算額	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">幼児教育支援事業補助金</td> <td style="text-align: right;">62, 360千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園新制度補助金</td> <td style="text-align: right;">26, 636千円</td> </tr> </table>	幼児教育支援事業補助金	62, 360千円	認定こども園新制度補助金	26, 636千円								
幼児教育支援事業補助金	62, 360千円												
認定こども園新制度補助金	26, 636千円												
担当課	部・課	こども未来部 こども育成課											
	担当課長	こども育成課長 柏木 毅											
	電 話	046-225-2253											

## 令和2年度当初予算主要事業

(地方創生)

事業名	小・中学校特別教室冷暖房設備設置事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>児童・生徒が快適な教育環境で安心して安全な学校生活を送ることができるよう、小・中学校の特別教室への冷暖房設備導入に向けた調査・検討を行います。</p>	
事業概要	<p>市立小・中学校の冷暖房設備は、平成28年度までに、全ての普通教室への設置が完了していますが、特別教室は一部の教室への設置にとどまっています。</p> <p>近年の地球温暖化等による猛暑の影響から児童・生徒の健康被害を防止し、安心・安全で快適な教育環境を確保するためには、特別教室への冷暖房設備の設置が喫緊の課題となっています。</p> <p>なお、特別教室への冷暖房設備の設置に当たっては、教育環境における公平性やトータルコストを踏まえた上で、短期間に最適な冷暖房設備を効率的に導入する必要があるため、専門的見地による現地調査や様々な視点からの比較・検討を行います。</p> <p>■ 市立小・中学校冷暖房設備導入調査・検討業務委託          ※対象校：全ての市立小・中学校              ・小学校：23校              ・中学校：13校              合 計：36校</p>	
令和2年度 当初予算額	小学校特別教室冷暖房設備設置事業費	12,778千円
	中学校特別教室冷暖房設備設置事業費	7,222千円
担当課	部・課	教育総務部 学校施設課
	担当課長	学校施設課長 齋藤 茂
	電 話	046-225-2605

## 令和2年度当初予算主要事業

(地域包括ケア社会)

事業名	高年齢者継続雇用奨励補助金	
区 分	新 規	
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高年齢者への就労機会の提供 働く意欲のある66歳以上の高年齢者が、企業において活躍（働くこと）できる場を確保するとともに、就労機会の提供を促進します。</li> <li>2 人材不足の解消 高年齢者の継続雇用を促進し、企業の人材不足解消の一助とします。</li> </ol>	
事業概要	<p>【対象】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内の中小企業者（従業員300人以下）</li> <li>2 市内の小規模事業者（従業員20人以下）</li> </ol> <p>【支給要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 66歳以上の従業員を1年以上継続雇用していること。 （週20時間以上勤務している従業員とする。）</li> <li>2 市税等を完納していること。</li> <li>3 従業員が雇用保険被保険者であること。</li> </ol> <p>【支給額】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内在住の従業員 1人につき30,000円</li> <li>2 市外在住の従業員 1人につき10,000円</li> </ol> <p>※市内在住者・市外在住者を合わせて1社当たり3人を限度とします。</p> <p>【事業効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高年齢者が継続して就労できる機会の提供に資することができます。</li> <li>2 就労を通じて高年齢者の継続的な社会参加を促進することができます。</li> <li>3 継続的な就労を通じて、高年齢者の孤立を防ぐことができます。</li> <li>4 継続的な就労を通じて、健康年齢の延伸を図り、地域包括ケア社会の実現に資することができます。</li> <li>5 企業における高年齢者雇用の促進により、人材の確保が図られます。</li> <li>6 人材確保の促進により、企業の生産性の維持・向上に資することができます。</li> </ol> <p>【県内他市の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内初めての取組となります。</li> </ul>	
令和2年度 当初予算額	9,854千円	
担当課	部 ・ 課	産業振興部 産業振興課
	担 当 課 長	産業振興課長 小宮 和茂
	電 話	046-225-2807

## 令和2年度当初予算主要事業

(地域包括ケア社会)

事業名	振り込め詐欺等防止装置購入費補助金	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>年々、増加傾向にある振り込め詐欺等の被害から、市民の財産を守るため、振り込め詐欺等防止装置付きの電話機等を購入した市民の方に購入費の一部を補助し、振り込め詐欺被害ゼロを目指します。</p>	
事業概要	<p>振り込め詐欺等被害防止のため、防災行政無線による広報を始め、青パトによる注意喚起、駅前における啓発活動、ケータイ SOS の配信を行っており、他市町と比べると被害件数は少ない状況ですが、振り込め詐欺の被害件数は、年々増加しております。</p> <p>このことから、振り込め詐欺、悪徳セールス、架空請求、アポイント電話等の被害から、市民の財産を守るため、録音機能付き電話機又は後付けの装置を購入した市民の方に補助を行います。</p> <p>【補助要件】</p> <p>1 対象者</p> <p>(1) 70歳以上の方が属する世帯</p> <p>(2) 市税の滞納がない世帯</p> <p>(3) 暴力団排除条例に抵触しない世帯</p> <p>(4) 警察に音声情報を提供することに同意する世帯</p> <p>2 補助金額</p> <p>1台当たり、6,000円を上限とし、それ以下の場合は、購入費の3分の2を補助</p> <p>3 実施期間</p> <p>令和2年度から4年度までの3か年</p>	
令和2年度 当初予算額	2,400千円	
担当課	部 ・ 課	協働安全部 セーフコミュニティくらし安全課
	担 当 課 長	セーフコミュニティくらし安全課長 出井 利明
	電 話	046-225-2867



## 令和2年度当初予算主要事業

(地域包括ケア社会)

事業名	高齢者の尊厳保持支援事業	
区分	拡充	
事業の目的	高齢者がいつまでも尊厳を持って自分らしい生活を送ることができるように支援します。	
事業概要	<p>権利擁護支援センター事業、成年後見制度市長申立、成年後見制度利用支援事業や高齢者虐待防止に関する事業を行うことにより高齢者がいつまでも尊厳を持って自分らしい生活を送ることができるように支援します。</p> <p>また、権利擁護支援センター事業においては、市民後見人養成のための研修の実施や、成年後見制度に関する相談受付、高齢者、障がい者の虐待に関する相談、通報の受理等を行っています。</p> <p>令和2年度からは、被成年後見人や成年後見人等を地域で支え合う仕組みとして地域連携ネットワークを構築するために、市町村が設置することとされている中核機関を設置し、地域における成年後見制度の利用促進を図るために、地域連携ネットワークのコーディネーターとしての役割を担います。</p> <p>さらに、専門職の団体や関係機関で組織する協議会を立ち上げ、権利擁護支援が必要な方に必要な支援を行えるよう、連携体制を強化します。</p> <p>なお、中核機関の立ち上げについては、現在県内で行っているのは藤沢市1市のみであり、令和2年度には、本市を除くと横浜市、横須賀市の2市が中核機関の立ち上げを予定しています。</p>	
令和2年度 当初予算額	13,087千円	
担当課	部・課	福祉部 介護福祉課
	担当課長	介護福祉課長 武藤 慎一
	電話	046-225-2396

## 令和2年度当初予算主要事業

(地域包括ケア社会)

事業名	がん検診事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	がんの予防や早期発見のため、各種がん検診を実施し、がんによる死亡者数を減少させ、市民の皆様の健康増進を図ります。	
事業概要	<p>肺がんについては、がんの中でその死亡者数が一番多いがんとなっています。このようなことから、肺がんの予防や早期発見のため、拡大事業として、肺がんの施設検診において、胸部エックス線検査に、がん検診実施のための指針（厚生労働省）で定義されている50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上のハイリスク者へ、喀痰（かくたん）からがん細胞の有無を調べる喀痰細胞診を併用し実施します。</p> <p>（喀痰細胞診10,714千円予算計上）</p> <p>1 がん検診</p> <p>（1）集団検診（保健福祉センターに集合し、検診バスで受診）</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 胃がん</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 乳がん検診</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 子宮がん検診</p> <p>（2）施設検診（個別に、医療機関で受診）</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 胃がん検診</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 乳がん検診</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 子宮がん検診</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 肺がん検診（胸部エックス線検査+<u>喀痰細胞診</u>）※ 拡充</p> <p style="margin-left: 20px;">オ 大腸がん検診</p> <p style="margin-left: 20px;">カ 前立腺がん検診</p> <p style="margin-left: 20px;">キ 口腔がん検診</p>	
令和2年度 当初予算額	496,472千円	
担当課	部 ・ 課	市民健康部 健康づくり課
	担 当 課 長	健康づくり課長 大塚 由絵
	電 話	046-225-2205

## 令和2年度当初予算主要事業

(都市基盤整備)

事業名	酒井土地区画整理関連事業						
区 分	新 規 ・ 拡 充						
事業の目的	<p>酒井地区の計画的かつ充実した都市基盤を形成するため、施行者である酒井土地区画整理組合に対する指導、助言及び支援に努めるとともに、施行地区周辺の必要な都市基盤整備を市で実施します。</p>						
事業概要	<p>令和元年9月に土地区画整理組合の設立を認可し、酒井土地区画整理事業（約27ha）が始まりました。令和2年度からは、地区内の基盤整備工事が本格的に開始されます。</p> <p>今後も、引き続き早期の産業用地創出及び企業誘致に向け、組合に対する技術的援助等を行うとともに、厚木市土地区画整理事業助成規則に基づく補助金を交付するなど令和6年度の整備完了を目指して、組合を支援します。</p> <p>また、市では施行地区周辺の都市基盤整備（道路・水路）を事業の進捗状況に合わせて進めます。</p> <p>【令和2年度の主な予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市補助金の交付</li> <li>・ 関連道水路整備に向けた測量・設計</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>						
令和2年度 当初予算額	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">酒井土地区画整理事業補助金</td> <td style="text-align: right;">633,000千円</td> </tr> <tr> <td>酒井土地区画整理関連道水路整備事業費</td> <td style="text-align: right;">8,000千円</td> </tr> <tr> <td>酒井地区運営事業費</td> <td style="text-align: right;">100千円</td> </tr> </table>	酒井土地区画整理事業補助金	633,000千円	酒井土地区画整理関連道水路整備事業費	8,000千円	酒井地区運営事業費	100千円
酒井土地区画整理事業補助金	633,000千円						
酒井土地区画整理関連道水路整備事業費	8,000千円						
酒井地区運営事業費	100千円						
担当課	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">部 ・ 課</td> <td>都市整備部 まちづくり推進課</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">担当課長</td> <td>森の里東・酒井地区整備担当課長 安藤 学</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電 話</td> <td>046-225-2856</td> </tr> </table>	部 ・ 課	都市整備部 まちづくり推進課	担当課長	森の里東・酒井地区整備担当課長 安藤 学	電 話	046-225-2856
部 ・ 課	都市整備部 まちづくり推進課						
担当課長	森の里東・酒井地区整備担当課長 安藤 学						
電 話	046-225-2856						



## 令和2年度当初予算主要事業

(都市基盤整備)

事業名	森の里東土地区画整理関連事業		
区 分	継 続		
事業の目的	<p>森の里東地区及び周辺の計画的かつ充実した都市基盤を形成するため、施行者である森の里東土地区画整理組合に対する指導、助言及び支援に努めるとともに、施行地区周辺の必要な都市基盤整備を実施します。</p>		
事業概要	<p>森の里東土地区画整理事業（約 68ha）のA工区（先行整備エリア）については、既に企業2社が操業開始しており、B工区についても、進出企業が1社決定しています。</p> <p>今後も、引き続き自然環境に配慮しながら段階的に工事を進め、B工区は今年6月、C工区は令和5年度の整備完了及び立地企業の操業を目指して、組合を支援します。</p> <p>また、市では施行地区周辺の都市基盤整備（排水路）を事業の進捗状況に合わせて進めます。</p> <p>【令和2年度の主な予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会資本整備総合交付金の市負担分及び公共施設管理者負担金の支出</li> <li>・ 関連排水路整備の実施</li> </ul> <div style="text-align: center;"> </div>		
令和2年度 当初予算額	森の里東土地区画整理推進事業費	48,300千円	
	森の里東土地区画整理関連排水路整備事業費	130,000千円	
	森の里東土地区画整理関連排水路整備事業費（継続費）	50,000千円	
	森の里東地区運営事業費	348千円	
担当課	部・課	都市整備部 まちづくり推進課	
	担当課長	森の里東・酒井地区整備担当課長 安藤 学	
	電 話	046-225-2856	


## 令和2年度当初予算主要事業

(都市基盤整備)

事業名	街路整備関連事業										
区分	新規・継続										
事業の目的	安全で快適な市民生活を確保するとともに、体系的な交通ネットワーク構築のため都市計画道路の整備促進を図ります。										
事業概要	<p>厚木環状3号線は、都市計画道路としての交通ネットワーク構築とともに、森の里東土地区画整理事業施行地区への主要アクセス道路として企業誘致を促進させ、地域経済の活性化を支援します。</p> <p>県道63号(相模原・大磯)宮地交差点から市道旗谷上古沢線までの1,700m区間の供用開始に向け、令和2年度につきましては、引続き用地買収を進めるとともに、周辺関連道路の測量、設計委託及び整備工事を実施します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">事業</th> <th style="width: 40%;">期間・金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>街路整備工事(第1工区) [継続費] L=280m</td> <td>平成29年度～令和2年度 総額1,300,000千円</td> </tr> <tr> <td>街路整備工事(第2工区) [継続費] L=787m</td> <td>平成30年度～令和3年度 総額3,750,000千円</td> </tr> <tr> <td>街路整備工事(第4工区) [継続費] L=500m</td> <td>令和2年度～令和4年度 総額650,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>本厚木下津古久線は、新東名高速道路厚木南ICへのアクセス機能や西部地域との環状系ネットワーク化を高めると共に、南部産業拠点地区への企業誘致にもつながる、地域経済への活性化を支援します。</p> <p>国道271号から県道22号(横浜・伊勢原)までの1,700m区間の供用開始に向け、令和2年度につきましては、測量、設計委託及び街路整備工事を実施します。</p>			事業	期間・金額	街路整備工事(第1工区) [継続費] L=280m	平成29年度～令和2年度 総額1,300,000千円	街路整備工事(第2工区) [継続費] L=787m	平成30年度～令和3年度 総額3,750,000千円	街路整備工事(第4工区) [継続費] L=500m	令和2年度～令和4年度 総額650,000千円
事業	期間・金額										
街路整備工事(第1工区) [継続費] L=280m	平成29年度～令和2年度 総額1,300,000千円										
街路整備工事(第2工区) [継続費] L=787m	平成30年度～令和3年度 総額3,750,000千円										
街路整備工事(第4工区) [継続費] L=500m	令和2年度～令和4年度 総額650,000千円										
令和2年度 当初予算額	厚木環状3号線街路整備事業費	281,000千円									
	厚木環状3号線(第1工区)街路整備事業費(継続費)	100,000千円									
	厚木環状3号線(第2工区)街路整備事業費(継続費)	1,615,000千円									
	厚木環状3号線(第4工区)街路整備事業費(継続費)	50,000千円									
	本厚木下津古久線街路整備事業費	112,200千円									
	街路用地取得事業費	251,924千円									
担当課	部・課	道路部 道路整備課	道路部 道路整備課								
	担当課長	幹線市道担当課長 太田 雅広	道路用地担当課長 角田 晃廣								
	電 話	046-225-2318	046-225-2307								


## 令和2年度当初予算主要事業

(都市基盤整備)

事業名	厚木秦野道路用地取得事業（用地国債） （公共用地取得事業特別会計）	
区分	継 続	
事業の目的	厚木秦野道路の早期整備を実現させるため、国の用地国債先行取得制度を活用し、国が行う用地取得の事業推進に協力します。	
事業概要	<p>本市における厚木秦野道路の事業化区間に係る用地取得は、地元各地権者の皆様の御理解・御協力の下、加速している状況にあります。</p> <p>令和元年度では、取得済みとなった一団の用地（国道129号～厚木バイパス線間 約0.8km）においては、国による用地内の樹木の伐採及び埋蔵文化財の試掘調査など、道路工事に向けた準備工事がスタートし、大きな進展がありました。</p> <p>令和2年度も、引き続き、厚木秦野道路の早期整備を実現させるため、国の「用地国債先行取得制度」を活用し、用地取得の事業推進に協力するものです。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>県内初の制度活用（3年目）</b>  <b>※3年間で約30億円</b>          (H30:9.9億, H31:9.9億,          R2:9.9億)</p> </div>	
令和2年度 当初予算額	990,250千円	
担当課	部・課	道路部 道路管理課
	担当課長	国県道調整担当課長 尾形 正
	電 話	046-225-2356

## 令和2年度当初予算主要事業

(防災・減災)

事業名	電気自動車電力供給システム整備事業	
区分	新規	
事業の目的	災害時の避難所における非常用電源を確保するため、電気自動車からの電力供給を確保する体制を整備し、避難所の充実・強化を促進します。	
事業概要	<p>災害時における避難場所となる公民館等の指定緊急避難場所における停電対策として、令和元年10月10日に日産自動車と締結した「災害時における電気自動車による電力供給に関する協定」に基づき、電気自動車からの電力を確保するため、非常用電源設備を整備します。</p> <p>整備箇所 公民館 16か所 保育所 4か所</p> 	
令和2年度 当初予算額	16,100千円	
担当課	部・課	市長室 危機管理課
	担当課長	危機管理課長 佐藤 登
	電話	046-225-2196

## 令和2年度当初予算主要事業



(防災・減災)

事業名	被災者支援システム整備事業	
区分	新規	
事業の目的	大規模災害時に市民生活の迅速な復旧・復興を支援するため、被災者支援システムを構築します。	
事業概要	<p>大規模災害発生時における被害は、過去の震災事例からも想定を超える規模が発生しており、市民生活の速やかな復旧・復興を支援することは、地方自治体において、最優先に取り組むべき業務です。</p> <p>このため、被災者に対する迅速な被害認定調査の実施や被災証明書の発行、また支援金、義援金、仮設住宅の支援等を早急に受けることができる体制を整備するため、被災者支援システムの構築を行います。</p>	
令和2年度 当初予算額	23,269千円	
担当課	部・課	市長室 危機管理課
	担当課長	危機管理課長 佐藤 登
	電話	046-225-2196



## 令和 2 年度当初予算主要事業

(防災・減災)

事業名	地区別防災マップ・オールハザードマップ作成事業	
区 分	新 規 ・ 継 続	
事業の目的	市民の皆様には防災意識を高めていただくことや地域の更なる防災活動を推進するため、地区別防災マップ及びオールハザードマップを作成します。	
事業概要	<p>《地区別防災マップ作成事業》</p> <p>「厚木市地震被害想定調査結果」や、最新の「洪水浸水ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」などの災害種別ごとのデータを活用し、それぞれのリスクや課題、対応策について、市内 15 地区ごとに市民との協働で作成している「地区別防災マップ」について、地元自治会を始め、各種団体等からいただいたご意見を反映させ、更なる充実を図ります。</p> <p>《オールハザードマップ等作成事業》</p> <p>大規模災害発生時における被害を最小限に抑え、市民の生命、身体及び財産を保護することを目的に平成 30 年度に実施した地震被害想定調査結果を基にした震度分布図、液状化分布図や最新の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映したオールハザードマップを作成し、地区別防災マップと併せ、全戸配布します。</p> <p>【イメージ図】地区別防災マップ                      【イメージ図】オールハザードマップ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
令和 2 年度 当初予算額	地区別防災マップ作成事業費	6, 279 千円
	オールハザードマップ等作成事業費	15, 500 千円
担当課	部 ・ 課	市長室 危機管理課
	担 当 課 長	危機管理課長 佐藤 登
	電 話	046-225-2196

## 令和2年度当初予算主要事業

(防災・減災)

事業名	厚木排水区浸水対策北貯留管整備事業 (公共下水道事業会計)	
区分	拡 充	
事業の目的	近年、頻発している下水道施設の整備水準を超える局地的集中豪雨等に対し、本厚木駅周辺を中心市街地において、既存施設を最大限活用した効果的な浸水被害軽減対策により、安心・安全なまちづくりを目指します。	
事業概要	<p>本厚木駅周辺の厚木排水区における浸水被害を軽減するため、国の補助制度である下水道浸水被害軽減総合事業の採択を受け、社会资本整備総合交付金を活用し、既往最大降雨である1時間に65ミリメートルの降雨に対応すべく、雨水貯留施設及び雨水貯留管を整備します。</p> <p>雨水貯留施設は整備済で、令和元年度から雨水貯留管の整備を開始し、令和2年度はシールドマシンの製作と発進部の作業ヤード整備及び立坑掘削を行います。</p> <p style="text-align: center;">事業実施区域図</p>	
令和2年度 当初予算額	900,000千円	
担当課	部・課	都市整備部 下水道施設課
	担当課長	下水道施設課長 柏木 忠雄
	電 話	046-225-2376

## 令和2年度当初予算主要事業

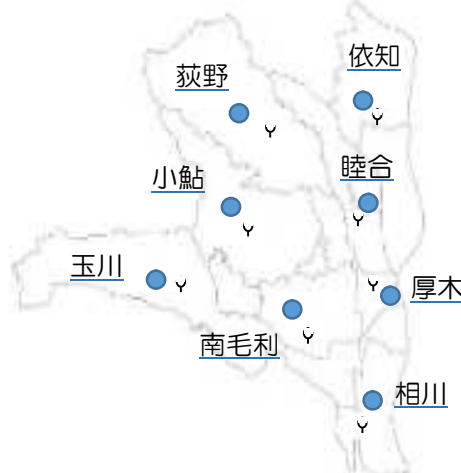

(防災・減災)

事業名	消防庁舎整備関連事業						
区 分	拡 充						
事業の目的	消防・防災拠点としての機能強化を図るため、相川分署と南毛利分署の移転整備を推進します。						
事業概要	<p>【南毛利分署新築事業（継続費）】</p> <p>◎規模等  移転先 厚木市長谷673番地5ほか  敷地面積 2,611㎡  延床面積 約780㎡  建物構造 RC造2階建</p> <p>◎事業スケジュール（予定）  令和2年度 杭工事、分署庁舎建設  令和3年度 分署庁舎建設・完成、旧分署庁舎解体</p> <p>【相川分署新築事業（継続費）】</p> <p>◎規模等  移転先 厚木市下津古久602番地1ほか  敷地面積 2,286㎡  延床面積 922㎡  建物構造 RC造2階建</p> <p>◎事業スケジュール（予定）  令和2年度 杭工事、分署庁舎建設  令和3年度 分署庁舎建設・完成、旧分署庁舎解体</p> <p>【相川分署新築事業】</p> <p>◎主な事業内容  相川分署解体設計・家屋調査・アスベスト分析調査</p>						
令和2年度 当初予算額	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">南毛利分署新築事業費（継続費）</td> <td style="text-align: right;">104,121千円</td> </tr> <tr> <td>相川分署新築事業費（継続費）</td> <td style="text-align: right;">133,976千円</td> </tr> <tr> <td>相川分署新築事業費</td> <td style="text-align: right;">10,000千円</td> </tr> </table>	南毛利分署新築事業費（継続費）	104,121千円	相川分署新築事業費（継続費）	133,976千円	相川分署新築事業費	10,000千円
南毛利分署新築事業費（継続費）	104,121千円						
相川分署新築事業費（継続費）	133,976千円						
相川分署新築事業費	10,000千円						
担当課	部・課	消防本部 消防総務課					
	担当課長	消防総務課長 上 健二					
	電 話	046-223-9366					



## 令和2年度当初予算主要事業

(防災・減災)

事業名	消防団救命ボート整備事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>近年、大型化する台風や局地的な集中豪雨により河川氾濫等の甚大な被害が発生していることから、市民の命と暮らしを守るため、洪水浸水対策の一環として、各署所に配備済みの9艇に加え、消防団へ救命ボートを追加配備し、消防・防災体制の更なる強化を図ります。</p>	
事業概要	<p>1 整備する資機材 消防団救命ボート 8艇</p> <p>2 配置場所 各地区に1艇を配備 (市内2署6分署)</p> <p>3 財源 整備に当たっては、国・県の補助事業(国…1/3・県…1/3)を活用します。</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">【配置地区】</div>  <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	
令和2年度 当初予算額	8, 5 9 1千円	
担当課	部・課	消防本部 警防課
	担当課長	消防本部次長兼警防課長 岡田 政弘
	電 話	0 4 6 - 2 2 3 - 9 3 6 7

## 令和2年度当初予算主要事業

(2020年東京オリンピック・パラリンピック)

事業名	オリンピック・パラリンピック支援推進事業	
区分	拡充	
事業の目的	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、本市のスポーツ文化の振興、国際交流の推進、観光振興及びバリアフリーのまちづくりなど、将来のあつぎにつなげるレガシー（遺産）の創出に取り組むとともに、次代を担う子どもたちの夢と希望を育みます。	
事業概要	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン相手国であるニュージーランドから、各種スポーツの事前キャンプを受入れ、多くの市民の皆様が選手たちと交流することができる機会を創出するとともに、教育交流を始めとしたホストタウン交流事業の充実を図ります。</p> <p>また、オリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバルを通じて、本大会への機運を高めるとともに、競技観戦やパブリックビューイングなど、市民の皆様がオリンピック・パラリンピックに触れることができる機会を創出します。</p> <p>※事前キャンプ受入競技（予定）～NZバスケットボール、NZゴルフ、NZサッカー、NZ車いすラグビー</p> 	
令和2年度 当初予算額	78,163千円	
担当課	部・課	政策部 企画政策課
	担当課長	企画政策課長 見上 知司
	電話	046-225-2456

## 令和2年度当初予算主要事業

(2020年東京オリンピック・パラリンピック)

事業名	オリンピック・パラリンピック体験支援事業																	
区 分	新 規																	
事業の目的	<p>東京オリンピック・パラリンピック組織委員会が企画する学校連携チケットを活用し、市立小・中学校の児童・生徒が観戦できる機会を設け、スポーツの楽しさや世界各国の文化及び様々な種目について体験的に学ぶことを通して、生涯またとない感動体験をレガシーの創出につなげることを目指します。</p>																	
事業概要	<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会のチケット代を市が負担することで、より多くの児童・生徒が国際的なイベントを直接体験する機会を提供します。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会から世界各国の文化及び様々な種目について体験的に学ぶことを通して、スポーツによる心身の調和的な発達、多様性や共生社会の意義を学び、地域・世界へ貢献する人材を育成します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 20%;">競技名</th> <th style="width: 20%;">開催日</th> <th style="width: 20%;">枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">オリンピック</td> <td style="text-align: center;">野球 (横浜スタジアム)</td> <td style="text-align: center;">8月 1日 8月 2日</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">合計 4,989枚</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ソフトボール (横浜スタジアム)</td> <td style="text-align: center;">7月26日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">サッカー (横浜国際総合競技場)</td> <td style="text-align: center;">7月23日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">パラリンピック</td> <td style="text-align: center;">陸上競技 (新国立競技場)</td> <td style="text-align: center;">8月30日</td> </tr> </tbody> </table>				競技名	開催日	枚数	オリンピック	野球 (横浜スタジアム)	8月 1日 8月 2日	合計 4,989枚	ソフトボール (横浜スタジアム)	7月26日	サッカー (横浜国際総合競技場)	7月23日	パラリンピック	陸上競技 (新国立競技場)	8月30日
	競技名	開催日	枚数															
オリンピック	野球 (横浜スタジアム)	8月 1日 8月 2日	合計 4,989枚															
	ソフトボール (横浜スタジアム)	7月26日																
	サッカー (横浜国際総合競技場)	7月23日																
パラリンピック	陸上競技 (新国立競技場)	8月30日																
令和2年度 当初予算額	9,937千円																	
担当課	部 ・ 課	学校教育部 教育指導課																
	担 当 課 長	教育指導課長 八木 義之																
	電 話	046-225-2666																

## 令和2年度当初予算主要事業

(2020年東京オリンピック・パラリンピック)

事業名	オリンピック聖火リレー記念施設整備事業	
区分	新規	
事業の目的	東京2020オリンピックの聖火リレーコースとなったことを後世に伝えるため、市道内に記念施設を設置します。	
事業概要	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、オリンピックの聖火リレーが厚木市内において行われることから、聖火リレーコースとなったことを後世に伝えるため記念となる施設を設置します。</p> <p>記念パネル等設置</p> 	
令和2年度当初予算額	5,000千円	
担当課	部・課	道路部 道路維持課
	担当課長	道路維持課長 重田 真人
	電話	046-225-2326

## 令和2年度当初予算主要事業

(2020年東京オリンピック・パラリンピック)

事業名	英語教育推進事業	
区 分	継 続	
事業の目的	<p>児童・生徒の皆さんが国際理解の素地を培うとともに、英語によるコミュニケーション能力を育む英語教育を推進します。</p>	
事業概要	<p>市立小・中学校全校に英語を母語とする外国語指導助手（ALT）を配置し、授業や教員研修を通して学校における国際理解・英語教育の充実を図ります。</p> <p>また、子どもたちが学校以外の場で英語に触れる活動として、英語の習得・活用に意欲を持つ児童を公募し、市内の国際交流イベント等で活動できるキッズ大使を育成するAKG（あつぎキッズガイド）プロジェクトを平成29年度から進めてきました。</p> <p>本年度はオリンピック・パラリンピックイヤーであり、ニュージーランドのホストタウンとして、バスケットボールや車いすラグビー、サッカーなど様々な競技の選手やスタッフ、家族等が厚木市に訪れますので、様々な場面でAKGプロジェクトを体験した児童が活躍できる場を提供します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">H29(2017)</p> <p style="text-align: center;">キックオフイベント</p> <p>○ミニオリンピック ・英語で遊ぶことを中心に英語に慣れ親しむ。</p> <p>○田舎の自然体験 ・参加は各町単位。 （全てで、1町だけでも、1期2期などの実施も可） ・対象は1年～6年生。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">H30(2018)</p> <p style="text-align: center;">キッズガイド研修ver.1</p> <p>○月1回程度、土・日に半日程度の研修を実施。（年4回7月～1月）</p> <p>【応募条件】 ・市内小中学校の4年～6年 ・年4回の研修全てに参加できること ・25名</p> <p>○秋季にデーキャンプ（アウトドアアクティビティ）</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">H31(2019)</p> <p style="text-align: center;">キッズガイド研修ver.2</p> <p>○月1回程度、土・日に半日程度の研修を実施。（1期4回を2回に分けて実施）</p> <p>【応募条件】 ・市内小中学校の4年～6年 ・1期4回の研修全てに参加できること ・各期25名（計50名） ○各期にデーキャンプ等実施 ○パフォーマンス向上チェックの実施（見習い活動は見習い）</p> </div> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; width: 25%; margin-left: auto;"> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">R2(2020)</p> <p>【GOAL】 東京2020オリンピック・パラリンピック大会やニュージーランドとのホストタウン交流事業の関連で、世界各国から厚木市を訪れる人々と、市内でのイベント等における交流の場にキッズ大使として活動。</p> <p>○キッズガイド研修は継続</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	
令和2年度 当初予算額	46,953千円	
担当課	部・課	学校教育部 教育指導課
	担当課長	教育指導課長 八木 義之
	電 話	046-225-2666

## 令和 2 年度当初予算主要事業


(中心市街地)

事業名	本厚木駅南口関連事業				
区 分	新 規 ・ 継 続				
事業の目的	<p>本厚木駅南口地区において、交通結節点の機能強化を図るとともに、商業・業務・居住などの複合的な都市機能の整備を促進し、魅力ある駅周辺の顔づくりを目指します。</p>				
事業概要	<p><b>【本厚木駅南口地区市街地再開発事業】</b>          本厚木駅南口地区市街地再開発事業として、駅前広場の交通結節点としての機能強化を図るとともに、商業、業務、住居などの複合的な都市機能を集積した再開発ビルを整備する市街地再開発組合に対し、必要な事業費を交付します。          (社会資本整備総合交付金の追加配分があったため、令和2年度に必要となる再開発事業補助金については令和元年度2月補正で確保済みです。)</p> <p>① 再開発ビル : 地下2階地上22階建て          ② 駅前広場 : 現況3,460㎡と約4,260㎡に拡充整備          ③ 工事完了 : 令和3年3月</p> <p><b>【(仮称)本厚木駅南口自転車駐車場整備事業】</b>          再開発ビル地下1階に市営自転車駐車場を整備し、本厚木駅南部方面からの駅及び駅周辺施設利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p><b>【デジタルサイネージ設置事業費】</b>          駅前広場にデジタルサイネージを6基設置し、イベントや観光情報、市からのお知らせなどの情報を積極的に発信します。</p> <p><b>【公衆無線LAN整備事業】</b>          本市を訪れる方々や、市民の皆様が気軽にインターネットに接続できる無線LAN(Wi-Fi)環境「Atsugi Free Wi-Fi」を拡げ、更なる利便性の向上を図ります。</p>				
令和2年度 当初予算額	<p>本厚木駅南口地区市街地再開発事業費 522,922千円【市街地整備課】</p> <p>(仮称)本厚木駅南口自転車駐車場整備事業費 272,000千円【交通安全課】</p> <p>デジタルサイネージ設置事業費 23,000千円【広報課】</p> <p>公衆無線LAN整備事業費 3,638千円【情報政策課】</p>				
担当課	部 課	都市整備部 市街地整備課	協働安全部 交通安全課	市長室 広報課	政策部 情報政策課
担当課長	担当課長	市街地整備課長 庄司 雅一	交通安全課長 五味 茂雄	広報課長 能條 隆広	情報政策課長 志村 正美
電 話	電 話	046-225-2852	046-225-2175	046-225-2046	046-225-2460



## 令和2年度当初予算主要事業

(中心市街地)

事業名	中町第2-2地区周辺整備関連事業			
区 分	継 続			
事業の目的	<p>都市機能集約による利便性の高い地区として、交通結節点としての機能向上を図ることにより、魅力と賑わいあふれる拠点都市を目指します。</p>			
事業概要	<p>多くの市民の皆様が気軽に立ち寄り、充実した時間を過ごすことができる「サードプレイス」の創出を目指し、中心市街地の新たな中核拠点となる図書館、(仮称)未来館、市庁舎等で構成する複合施設の設計に向けた準備を進めるとともに、歩行者、自動車等が安全かつ円滑に移動できる交通動線の確保に向け、関係機関等と協議し、周辺交通アクセス整備を推進します。</p> <p>また、令和2年度においては、A-358号線の歩道整備、都市計画道路中町北停車場線の整備計画の検討を進めます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>			
令和2年度 当初予算額	中町第2-2地区周辺整備事業費		70,095千円【市街地整備課】	
	中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業費		30,000千円【道路整備課】	
	中町北停車場線街路整備事業費		5,000千円【幹線市道担当】	
担当課	部 課	都市整備部 市街地整備課	道路部 道路整備課	道路部 道路整備課
	担当課長	中町第2-2地区整備 担当課長 内藤 悟	道路整備課長 二宮 卓昭	幹線市道担当課長 太田 雅広
	電 話	046-225-2854	046-225-2316	046-225-2318

## 令和2年度当初予算主要事業




(中心市街地)

事業名	本厚木駅北口周辺整備関連事業	
区 分	新 規 ・ 拡 充	
事業の目的	本厚木駅北口周辺地区及び駅北口広場の都市機能更新に向けた取組を行います。	
事業概要	<p>中心市街地全体構想のテーマである「歩いて楽しいまち」を実現するため、市街地再開発事業の主体となる関係権利者による市街地再開発準備組合を設立し、この組織を積極的に支援するとともに具体的な事業内容を検討します。</p> <p>また、市街地再開発準備組合が実施する組合設立促進事業に要する経費に対し、補助金を交付します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>本厚木駅北口広場及び民間ビル</p> </div>	
令和2年度 当初予算額	本厚木駅北口周辺整備事業費 16,305千円	
	本厚木駅北口地区市街地再開発組合設立促進事業補助金 264千円	
担当課	部 ・ 課	都市整備部 市街地整備課
	担 当 課 長	市街地整備課長 庄司 雅一
	電 話	046-225-2852



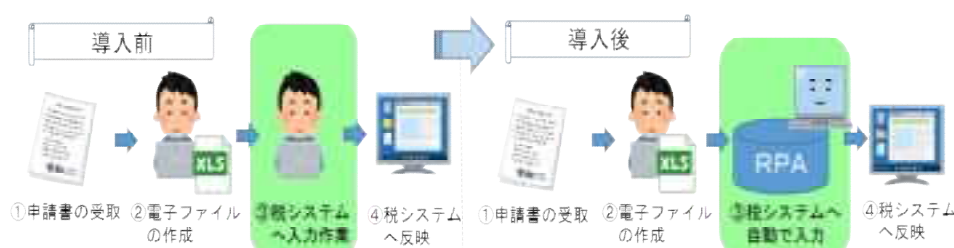
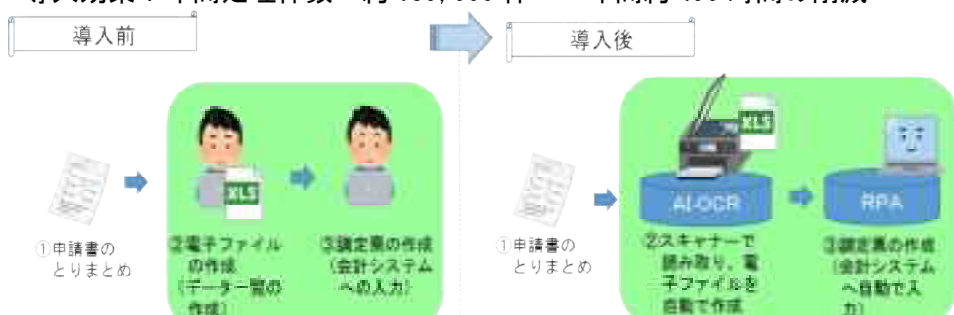
## 令和2年度当初予算主要事業

(中心市街地)

事業名	愛甲石田駅周辺整備関連事業	
区分	拡充	
事業の目的	<p>愛甲石田駅利用者の増加による交通環境などの課題を改善するため、駅北口広場及び周辺地区の計画的な整備を行い、交通結節点としての機能を強化するとともに副都市中心拠点としてふさわしいまちづくりを目指します。</p>	
事業概要	<p>愛甲石田駅周辺では森の里東地区や酒井地区の区画整理事業などに伴い、今後も駅利用者の増加が見込まれます。</p> <p>こうしたことから将来を見据えた整備が必要となっており、地元住民の皆様のご意見、ご要望を伺いながら、愛甲石田駅北口広場の拡張を基本とした整備構想の検討を進めます。</p> <p>また、一般車と公共交通の錯綜を改善するため、既にも買収した用地を活用して、愛甲石田駅北口広場の暫定整備を行います。</p>	
	 <p>愛甲石田駅北口広場</p>	 <p>愛甲宮前交差点（混雑状況）</p>
		 <p>駅前歩道（混雑状況）</p>
令和2年度 当初予算額	79,000千円	
担当課	部・課	都市整備部 市街地整備課
	担当課長	市街地整備課長 庄司 雅一
	電話	046-225-2852

# 令和2年度当初予算主要事業

(あつぎ元気プランの着実な推進)

事業名	RPA等導入事業	
区分	新規	
事業の目的	<p>AIやRPAなどの新技術を導入することで、更なる業務の効率化や生産性の向上を図り、業務の効率化により創出された時間を有効に活用することで、これまで以上に質の高い行政サービスの提供につなげます。</p>	
事業概要	<p>少子高齢化の進展や人口減少など大きく社会環境が変化している中、自治体における業務内容の複雑化や市民の要求水準の上昇などにより業務量の増加が予測されることから、更なる業務の効率化や生産性の向上を図るため、AI（人工知能）やRPA（ソフトウェア上のロボットによる業務工程の自動化）などの新技術を導入するものです。</p> <p><b>1 市民税特別徴収異動届入力業務（RPA導入）</b>          事業概要：市税の納付方法の変更に伴う税システムへの入力作業を自動化          導入効果：年間処理件数 約9,000件 ⇒ 年間約450時間の削減</p>  <p><b>2 住民票等証明発行事務に伴う申請書集計表等作成業務（AI-OCR・RPA導入）</b>          事業概要：住民票等の証明書発行件数の集計・調定票作成業務を自動化          導入効果：年間処理件数 約159,000件⇒ 年間約490時間の削減</p> 	
令和2年度当初予算額	7,000千円	
担当課	部・課	政策部 行政経営課
	担当課長	行政経営課長 小林 宏至
	電話	046-225-2286

## 令和2年度当初予算主要事業

(あつぎ元気プランの着実な推進)

事業名	ごみ減量化・資源化推進事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	<p>超高齢社会を踏まえた持続可能な循環型社会の実現を目指し、資源物の適正な収集・処理を実施するとともに、家庭系ごみ・事業系ごみの更なる減量化・資源化を推進します。</p>	
事業概要	<p>ごみの減量及び資源化をより一層推進するため、もえるごみの大半を占める生ごみの削減に向け、学校給食から排出される食品廃棄物の減量化・資源化モデル事業を実施するとともに、製品プラスチックの資源化モデル地区事業や、紙おむつの資源化に向けた調査を実施します。</p> <p>【学校給食における食品廃棄物減量化・資源化モデル事業】  《資源化（メタン発酵による発電）》  ・対象とする施設 南・北学校給食センターと小・中学校8校を予定  ・資源化する食品残渣量 約80トン  ・実施期間 令和2年6月～令和3年3月（10箇月間）  《減量化（生ごみ処理機）》  ・対象とする施設 小・中学校4校を予定  ・減量化する食品残渣量 約5トン  ・開始時期 令和2年10月頃～  ・予算額 20,797千円</p> <p>【製品プラスチック資源化モデル地区事業】  ・対象は100%プラスチックの製品（例：洗面器、ごみ箱、バケツ等）  ・市内2地区をモデル地区として選定し、月1回収集  ・想定収集量 約36トン  ・開始時期 令和2年7月～  ・ポリタンクやプラスチックパレット、プラケース（プラスチックコンテナ）等にリサイクルされる。  ・予算額 4,015千円</p> <p>【紙おむつ資源化調査業務】  ・市内における紙おむつの排出量調査  ・本市の地域的及び地理的条件等を考慮した上で、最も適した資源化の検討  ・予算額 3,000千円</p>	
令和2年度 当初予算額	1,105,031千円	
担当課	部・課	環境農政部 環境事業課
	担当課長	環境事業課長 細川 繁明
	電 話	046-225-2795


## 令和2年度当初予算主要事業

(あつぎ元気プランの着実な推進)

事業名	SDGs推進事業	
区分	新規	
事業の目的	<p>現在、神奈川県が推進しているSDGsの取組の一環である「SDGsつながりポイント事業」を導入し、県と連携しながら、市民や事業者等の皆様に対して、SDGsの取組を普及・啓発するとともに、地域における相互のつながりを深めることを目的として実施します。</p>	
事業概要	<p>2015年の国連サミットで採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標であり、国や県も推進体制を構築し、取組を積極的に推進しています。</p> <p>本市においては、第10次総合計画策定方針の中で、「計画策定に当たって配慮すべき視点」の一つとして位置付けており、SDGsの達成に寄与すべく取組を進めています。</p> <p>「SDGsつながりポイント事業」は、SDGsにつながる市民活動等に対してポイントを付与し、貯めたポイントを市内加盟店舗やイベントにおける特典などのサービスに利用できるもので、事業を通じて、SDGsに対する理解や市民の皆様相互のつながりを深めるものです。</p> <p>なお、ポイントの付与、利用はスマートフォンのアプリを用いて行います。</p>	
令和2年度 当初予算額	3,000千円	
担当課	部・課	政策部 企画政策課
	担当課長	企画政策課長 見上 知司
	電話	046-225-2456

## 令和2年度当初予算主要事業

(あつぎ元気プランの着実な推進)

事業名	セーフコミュニティ推進事業	
区分	継 続	
事業の目的	「事故やけがは、偶然の結果ではなく予防できる」というセーフコミュニティの理念の下、市民の皆様や各種団体、関係機関等との協働により、誰もが健康で安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。	
事業概要	<p>【事業概要】</p> <p>2008年からセーフコミュニティの取組を開始し、市民協働で継続した結果、交通事故件数や刑法犯認知件数は大きく減少するなど、成果を得ています。</p> <p>2020年は、さらにセーフコミュニティ活動を推進するため、海外からの認証審査員による現地審査において、本市の安心・安全に関する8つの対策委員会(交通安全、自転車生活の安全、体感治安と公共の場における安全、子どもの安全、高齢者の安全、自殺の予防、職場の安全、防災対策)の取組状況の発表を行い、3度目のセーフコミュニティ認証取得を目指します。</p> <p>【令和2年度の主な予定】</p> <p>○7月現地審査 ○11月認証式典、安心安全フェスタ(同時開催)</p>  <p style="text-align: right;">愛の目運動</p> <p>※セーフコミュニティとは 安心・安全なまちづくりに取り組んでいると認められた自治体にも与えられるWHO(世界保健機関)が推奨する国際認証制度。</p>	
令和2年度 当初予算額	15,565千円	
担当課	部・課	協働安全部 セーフコミュニティくらし安全課
	担当課長	セーフコミュニティくらし安全課長 出井 利明
	電 話	046-225-2867

## 令和2年度当初予算主要事業

(あつぎ元気プランの着実な推進)

事業名	ホームページリニューアル事業	
区分	新規	
事業の目的	近年の情報通信技術の進展に伴う社会環境の変化に対応し、市民の皆様にご利用しやすく分かりやすいホームページの構築を目指します。	
事業概要	<p>1 概要</p> <p>現在のホームページは、稼働から約10年が経過し、長期運用に伴うシステムの陳腐化や、利用者が目的の情報を速やかに取得できるようデータの整理等が課題になっています。</p> <p>これらの課題を解決し、より良質な市民サービスを提供するため、全面リニューアルを実施します。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 新たに構築するシステム ホームページ作成システムの導入(提案競技方式を予定)</p> <p>(2) 機能強化等 モバイル端末機に最適化した画面デザイン、検索機能、通信環境の整備等</p> <p>3 事業効果</p> <p>(1) 利用者が目的とする情報を速やかに取得するための支援強化</p> <p>(2) 災害や緊急時、速やかに情報発信できるよう機能強化</p> <p>(3) 関連するページを集約し情報の整理</p>	
令和2年度 当初予算額	48,250千円	
担当課	部・課	政策部 情報政策課
	担当課長	情報政策課長 志村 正美
	電話	046-225-2460